

まるカン2023

ひっかけ
問題

老年看護学

1 高齢者の総合機能評価〈CGA〉について正しいのはどれか。

[第104回 午後58問]

1. 介護者の介護負担は含まない。
2. 多職種チームで結果を共有する。
3. 疾患の改善を目指すことが目的である。
4. 主な対象者は重度の要介護高齢者である。

高齢者の総合機能評価（CGA）は、虚弱高齢者の生活機能を評価するための高齢者の総合機能評価であり、多職種間でその結果を共有することで、症状の改善やQOL向上にチームで取り組むことが重要である。

【答え 2】

2 高齢者のエイジズムについて正しいのはどれか。

[第103回 午前55問]

1. 高齢者の価値を認めるものである。
2. 高齢者の権利を擁護するものである。
3. 高齢者を生活環境の違いで区別するものである。
4. 高齢者という理由で不当な扱いをするものである。

エイジズムとは、年齢による差別や不当な扱いをすることで、特に高齢者に対する偏見や差別のことである。

2はアドボカシー（権利擁護）についての記述である。【答え 4】

3 高齢者の看護において目標志向型思考を重視する理由で最も適切なのはどれか。

[第106回 午前54問]

1. 疾患の治癒促進
2. 老化現象の進行の抑制
3. 病態の関連図の作成の効率化
4. 生活全体を豊かにするケアの実践

高齢者看護における目標志向型思考では、高齢者のもてる力や主体性を重視し、生活を援助するためのケアを展開する。疾患の治癒促進や老化現象の進行の抑制などは、問題解決型思考によるアプローチである。

【答え 4】

4 加齢による咀嚼・嚥下障害の特徴で正しいのはどれか。

[第106回 午前56問]

1. 咳嗽反射が低下する。
2. 口腔内の残渣物が減る。
3. 唾液の粘稠度が低下する。
4. 食道入口部の開大が円滑になる。

加齢による咀嚼・嚥下障害から、口腔内の残渣物は増えやすくなり、唾液の粘稠度は高くなる。また、咳嗽反射が低下し、誤嚥のリスクが高まる。【答え 1】

5 Aさん(80歳、女性)。大腿骨頸部骨折のため人工骨頭置換術を受けた。手術後14日、Aさんの経過は順調で歩行訓練を行っている。歩行による疼痛の訴えはない。

現在のAさんの状態で最も注意すべきなのはどれか。

[第107回 午前51問]

1. せん妄
2. 創部感染
3. 股関節脱臼
4. 深部静脈血栓症

一般的に、人工骨頭置換術の術後早期(術後3カ月以内)に脱臼が発生しやすいとされ、注意が必要である。過度な屈曲や内転・内旋・外旋を避ける。【答え 3】

6 Aさん(74歳、女性)は、1人暮らし。要介護1、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱa。頻尿のため、自室からトイレへの移動中に廊下で失禁することが頻繁にある。1日3食の高齢者向け配食サービスを利用している。

現時点でのAさんの日常生活で最も起こりやすいのはどれか。

[第108回 午前71問]

1. 窒息
2. 転倒
3. 熱傷
4. 徘徊

Aさんは認知症であることがうかがえるため、4を選んでしまいそうになるが、頻尿でトイレへの移動中に間に合わずに失禁することがあるという解説から、転倒のリスクが最も高いとアセスメントできる。【答え 2】